



## より良い活動を行うために



### ～子どもの活動に関わる大人に求められるもの～

#### ☆活動の意義を理解しよう

子どもの居場所づくりは、子どもの安全・安心な活動場所を提供するだけでなく、子どもが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境を学校・家庭・地域が連携して整備していくものです。それぞれの活動は、**子どものためであり、地域のため、そして自分自身のためであることを認識しましょう。**

#### ☆子どもを理解しよう

活動の中で関わる子どもたちにはいろいろな子がいます。活発な子ども、お話好きな子ども、ものづくりが得意な子ども、お友だちに優しい子ども…。それぞれ得意なこともあれば、苦手なこともあります。**子どもたちの発達や性格には個人差があることを理解しましょう。**



また、子どもの目線に立ち、上手に相づちを打ったり質問したりしながら子どもの話にきちんと耳を傾けたり、上手にほめて子どもたちの意欲を高めて長所を伸ばしたりするなど、**子どもを理解する姿勢を持つことも大切です。**

#### ☆人のつながりをつくろう



活動には子ども、コーディネーター、地域のボランティア、指導者、教員、保護者など、様々な人がかかわります。**同じ活動をしていても、それぞれの経験や立場、環境等によって、ものの見方、とらえ方、感じ方が違います。**「つながり」とは、見方の異なる人たちが一緒にやっていくことです。情報交換の場を設けたり、交流イベントを行う等でコミュニケーションを図ったりすることで、**互いの信頼関係を築きましょう。**

#### ☆地域・学校を理解しよう

活動場所となる地域や学校を理解することは大切です。地域にはどのような人がいるのか、どんな行事を行っているのか、施設、自然、伝統文化などの地域資源にはどのようなものがあるのか等、**アンテナを高くして地域を理解することで活動を充実させることができます。**

また、学校で活動する場合には、先生との情報交換をよく行い、**子どもたちへの対応、先生の動き、学校のニーズ等について理解を深めましょう。**



#### ☆人権を守る意識を持つ

様々な人々と関わる者として、豊かな人権感覚を身につけていることは大切です。相手が不快に感じるような言い方をしていないか、相手の環境や状況に配慮した話をしているか、関わる人々に公平に接することができるか等、**子どもだけでなく、活動仲間や保護者等の大人の人権にも配慮しましょう。**

#### ☆秘密を守ろう

活動を通して、子どもや保護者、学校、地域の人々等についていろいろな情報を得ますが、その中にはあまり好ましくない話や他人には知られたくないこともあるかもしれません。**知り得た秘密は口外せず、きちんと守りましょう。**



逆に、活動の楽しさや子どもたちの素晴らしさ、学校や地域の称賛すべき取組は積極的にPRしましょう。

#### ☆安全対策をしよう

子どもも大人も、安心して気持ちよく安全に活動していくために、**安全対策・危機管理能力を高めることが必要です。**地域を巻き込んだ学習会の実施や、子どもたちとともにルールブックを作成する等、いざというときに対応できるよう準備をしておきましょう。